

2026年度富山県中新川郡医師会学術講演会 「人工股関節手術の歴史 ナビゲーション手術と ロボット支援手術まで」



富山大学医学部 整形外科
Department of Orthopaedic Surgery
Faculty of Medicine, University of Toyama

富山大学附属病院 整形外科
診療所手

平岩利仁 先生

(ひらいわ としひと)



〒930-0194
富山市杉谷2630番地



TEL 076-434-2315



<http://www.med.u-toyama.ac.jp/ortho/ortho/>

19世紀末に始まった人工股関節の歴史は、象牙やゴム、ガラスを用いる試みから始まった。1940年代にはアクリル樹脂などの素材が登場したものの、摩耗や破損による失敗が続く。素材探しのブレイクスルーは、1938年に導入のコバルトクロム合金、さらに大きな転換期は1960年代。英国医師ジョン・チャーリーが、金属製骨頭、ポリエチレン製ソケット、骨セメントを組み合わせた「低摩擦人工股関節」を開発し、現代の基礎を築かれた。その後、素材の改良、セメントフリー固定法等が進歩。現在は最小侵襲のロボット手術に至り、安全性と耐久性が限りなく向上した。

日本医師会生涯教育講座認定カリキュラムコード 0 最新のトピックス・その他
開催日 2027年1月28日木曜日 午後7時より

富山県医師会館 1階ホール 現地開催およびWeb配信



バスコード : 1028m

Web講演 事前申し込み必要 **zoom** ウェビナー

ご略歴

富山大学医学部医学科卒
富山労災病院
富山赤十字病院
富山大学附属病院（整形外科 診療助手・医師などとして着任）

資格・学会

資格・専門領域 日本整形外科学会認定整形外科専門医
股関節外科、関節リウマチ、足の外科
2023年 国際コンピュータ支援整形外科学会
Emerging Researchers Award 受賞